

【研究協力依頼】看護師の特定行為研修の修了者の活動評価のための研究

全国調査が始まりました！

研究代表者：真田弘美（東京大学）

1. 調査目的: 看護師の行う特定行為がどのような影響を与えるか、ベンチマーク評価を可能とする、アウトカム指標のデータベースを構築する。
2. 調査期間: 令和3年11月～令和4年2月末(予定)
3. 調査対象: 特定行為研修修了者が就業する全ての施設における施設管理者および特定行為研修修了者
4. 調査項目: 患者QOL、行為の安全性、労働環境、コストに関する項目、活動状況等
5. 調査方法: 調査協力に同意いただいた施設の特定行為研修修了者は、web上でデータ入力を行うシステム利用にあたり研究班から個別のIDとパスワードが提供されます。個人単位、施設単位での効果について、各項目のデータ入力をしてください。

本調査は、より効率的・効果的な特定行為の実施体制を整備する上での参考となり、特定行為の普及に貢献できると考えられます。また、より効率的に医療ニーズに合った特定行為を実施できる看護師の育成や配置が可能となり、特定行為の普及に関連する施策を策定や、今後の特定行為研修修了者の評価のための検討の一助となると考えております。

研究参加URL: <http://tokutei-project.jpn.org>

調査へのご協力をお願いいたします